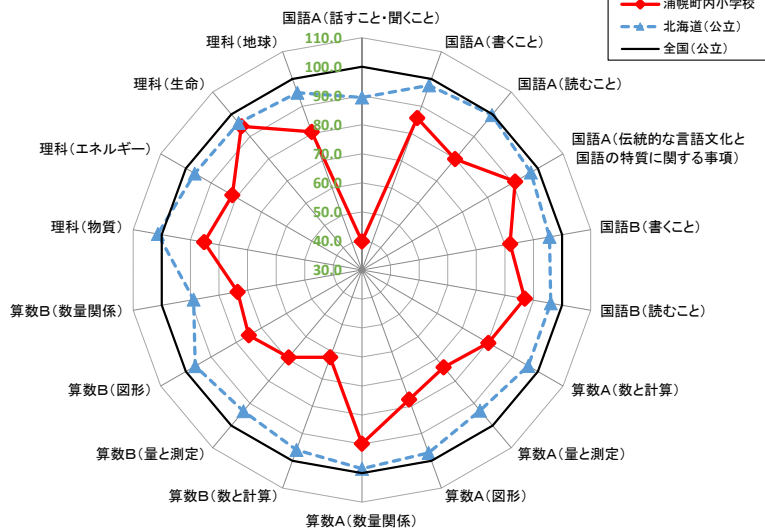


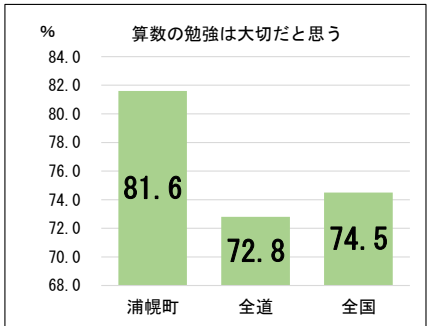
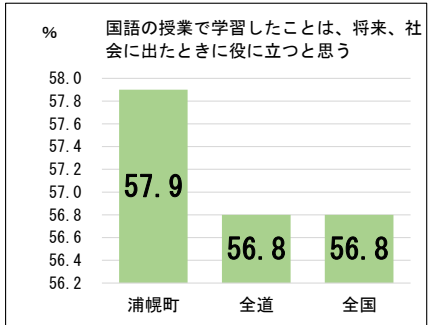
浦幌町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:38名)

【教科全体の状況】

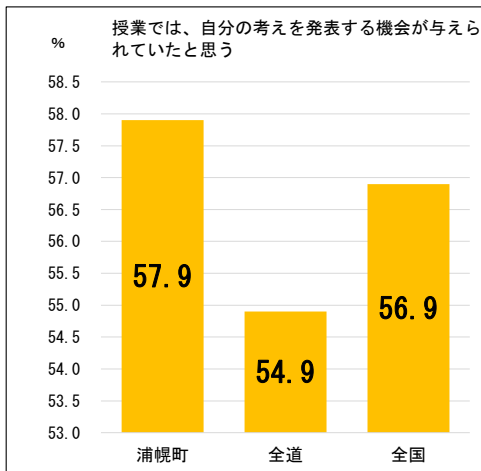
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したのもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



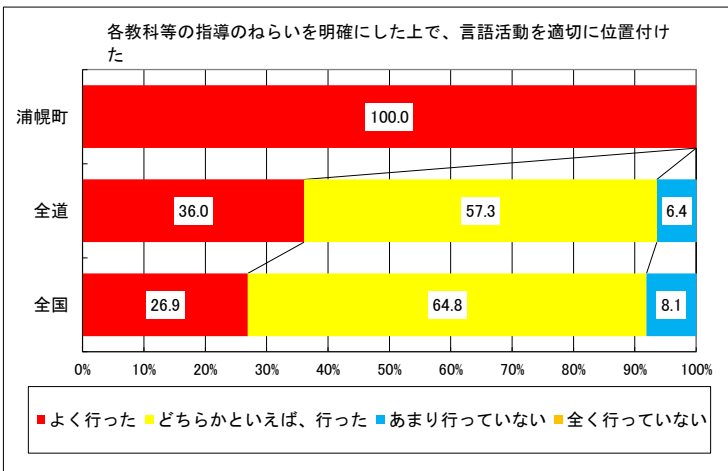
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数A「数量関係」、理科「生命」が、他の領域に比べて高い。	○ 各学校で、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた授業について、全校的な取組を進めた結果、授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う児童が増え、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う児童や、算数の勉強は大切だと思う児童が増加し、特に、国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数A「数量関係」の力が付いてきていると考えられる。
児童質問紙	○ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 算数の勉強は大切だと思うと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 全ての学校が、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた授業を「よく行った」と回答している。	

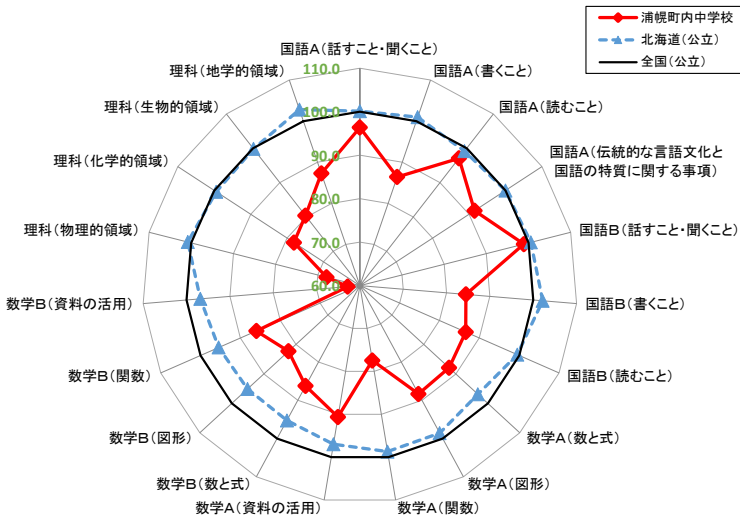
【浦幌町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査結果分析及び課題を明確にした数値目標の設定による検証改善サイクルの確立
- ◎ 放課後や長期休業期間中の学習サポートの実施
- ◎ 保護者や地域と危機意識等を共有した「浦幌教育の日」の取組や、学校支援地域本部事業、浦幌スタイルの教育、小中一貫コミュニティ・スクールの取組の推進

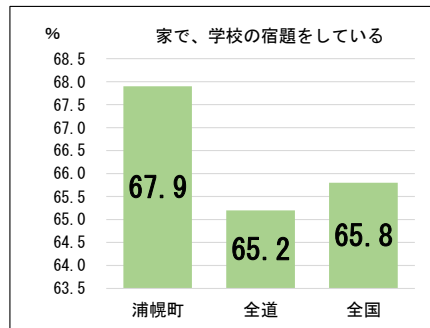
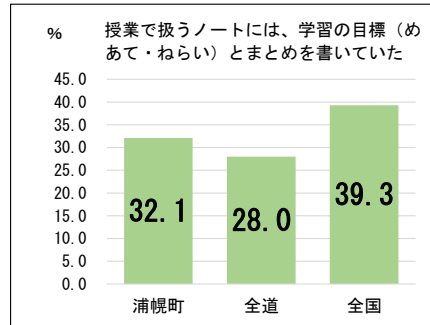
■ 浦幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:28名)

【教科全体の状況】

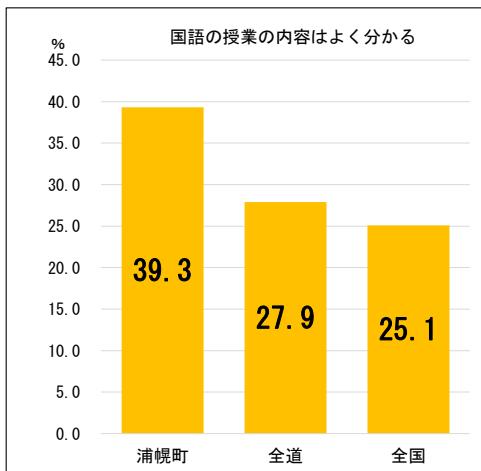
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したのもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



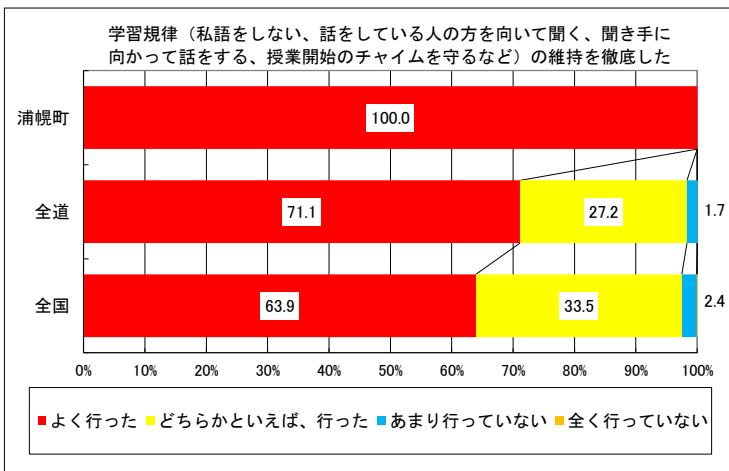
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語B「話すこと・聞くこと」が、全国平均とほぼ同等になっており、国語A「話すこと・聞くこと」、「読むこと」が、他の領域に比べて高い。	○ 各学校で、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底することについて、全校的な取組を進めた結果、授業で扱うノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く生徒が増え、家で、学校の宿題をする生徒や、国語の授業の内容はよく分かると回答する生徒が増加し、特に、国語の力が付いてきていると考えられる。
生徒質問紙	○ 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いている生徒の割合が、全道を上回っている。 ○ 家で、学校の宿題をしている生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語の授業の内容はよく分かると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 全ての学校が、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持の徹底を「よく行っている」と回答している。	

【浦幌町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査結果分析及び課題を明確にした数値目標の設定による検証改善サイクルの確立
- ◎ 放課後や長期休業期間中の学習サポートの実施
- ◎ 保護者や地域と危機意識等を共有した「浦幌教育の日」の取組や、学校支援地域本部事業、浦幌スタイルの教育、小中一貫コミュニティ・スクールの取組の推進